

予 算 要 求 資 料

令和6年度当初予算

支出科目 款：款：農林水産事業費 項：林業費 目：林業振興費

事業名 林業普及体制強化指導費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

林政部森林文化アカデミー普及企画係 電話番号：0575-35-2535(内707)

E-mail：c21907@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 1,630 千円 (前年度予算額： 1,630 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	1,630	0	0	0	0	0	0	0	1,630
要求額	1,630	0	0	0	0	0	0	0	1,630
決定額									

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

(ア) 経緯

・昭和26年、森林法に基づき林業普及指導事業が発足し、平成16年3月の森林法改正により林業普及指導員を設置。森林経営計画、市町村森林整備計画の指導、主伐・再造林の推進、森林組合等の組織強化など、多岐にわたる技術的指導において、外部の専門的な人材の活用により、林業普及体制を強化。

(イ) 現状と課題

・外部の専門的な人材により、主伐・再造林、森林組合の組織強化、不採算人工林の更新など、地域の実情に応じた内容の研修会等を実施している。
 ・平成31年4月から森林経営管理法が施行され、森林整備を進めるうえでの市町村の役割は非常に大きくなっている。このため、森林経営管理法の運用に関する市町村への直接支援、主伐・再造林の推進、森林組合等の組織強化など、多岐にわたる技術的指導において、林業普及指導員による巡回指導のみでなく、外部の専門家等による講習、研修会等の開催の重要性はますます高まっている。

(2) 事業内容

(ア) 事業目的・事業効果

・外部の専門的な人材により、森林経営管理制度の運用、主伐・再造林、森林組合の組織強化、不採算人工林の更新など、地域の実情に応じた内容の研修会等を実施しており、森林づくりから地域木材の利活用に至る一連分野に関し、市町村職員、事業体等職員等の支援及び関係者の調整や、森林経営の中核的人材の育成等の指導・支援を行う。

(イ) 内容

○健全で豊かな森林づくりの推進

森林経営管理事業・森林経営計画等に関する指導・勉強会等

(可茂、恵那、下呂)

○林業及び木材産業の振興

主伐・再造林の推進に向けた効率的な作業システムに関する研修会等
(西濃、可茂)

○技術者及び担い手の育成・確保

森林技術者等への新たな技術の普及、若手技術者への安全作業技術の研修、農林系高校への出前授業など、
(岐阜、揖斐、中濃、郡上、飛騨)

(3) 県負担・補助率の考え方

- ・一般財源【森林整備担い手対策基金充当】
- ・県10/10

(4) 類似事業の有無

なし

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
報償費	378	研修会講師報償費
旅費	347	講師費用弁償：134千円、 業務旅費：213千円
需用費	225	消耗品費：180千円、 燃料費：45千円
役務費	104	通信運搬費（郵便、機械運搬）：84千円、保険料：20千円
委託料	321	委託料
使用料	255	使用料（会場借り上げ料ほか）
合計	1,630	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

第4期岐阜県森林づくり基本計画

(2) 後年度の財政負担

継続

(3) 事業主体及びその妥当性

県

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

現場に根ざした林業普及指導事業により、森林所有者等の技術、経営の合理化等が推進されることで、森林経営のトータルコストの低減を図るとともに、災害に強い森づくりを推進する

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R1)	R4年度 実績	R5年度 実績	R6年度 目標	終期目標 (R)	達成率
①取組課題数	10	10	10	10	10	100%
②						

○指標を設定することができない場合の理由

--

（これまでの取組内容と成果）

令和 2 年度	<ul style="list-style-type: none"> ・取組内容と成果を記載してください。 ○森林経営計画に基づく森林整備を推進することができた。 ○未利用材の効率的な活用並びに搬出方法について理解を深めることができ、森林内から林地残材が搬出され、未利用材の活用が図られた ○高性能林業が導入され、林業事業体の生産性の向上が図れた。 ○市町村の森林経営管理制度の運用が進んだ。 ○広葉樹森林整備指針を策定された。
令和 3 年度	<ul style="list-style-type: none"> ・取組内容と成果を記載してください。 ○森林経営計画に基づく森林整備を推進することができた。 ○災害に強い森林づくりに関する技術研修により、適正な間伐等の森林整備が図られた。 ○市場動向等の情報収集と生産情報のマッチングを行った。 ○市町村の森林経営管理制度の運用が進んだ。 ○スマート林業に対する技術支援を行うことで、事業者への理解が進んだ。 <p>指標① 目標： 10 実績：10 達成率： 100 %</p>
令和 4 年度	<ul style="list-style-type: none"> ・取組内容と成果を記載してください。 ○森林経営計画に基づく森林整備を推進することができた。 ○災害に強い森林づくりに関する技術研修により、適正な間伐等の森林整備が図られた。 ○市場動向等の情報収集と生産情報のマッチングを行った。 ○市町村の森林経営管理制度の運用が進んだ。 ○スマート林業に対する技術支援を行うことで、事業者への理解が進んだ。 <p>指標① 目標： 10 実績：10 達成率： 100 %</p>

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<p>・ 事業の必要性 (社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3 : 増加している 2 : 横ばい 1 : 減少している 0 : ほとんどない</p>	
(評価) 2	<p>・ 現場に根ざした林業普及指導を実施するために、国費事業だけでは対応できない、県独自、地域独自の取り組みが求められている</p>
<p>・ 事業の有効性 (指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3 : 期待以上の成果あり 2 : 期待どおりの成果あり 1 : 期待どおりの成果が得られていない 0 : ほとんど成果が得られていない</p>	
(評価) 2	<p>・ 県内各地域が抱える課題に対して様々な取り組みを行っている。</p>
<p>・ 事業の効率性 (事業の実施方法の効率化は図られているか) 2 : 上がっている 1 : 横ばい 0 : 下がっている</p>	
(評価) 1	<p>・ 普及指導事業と組み合わせた事業実施により、少ない経費で効果的に事業実施をしている。</p>

(今後の課題)

<p>・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 より高度な技術に対応できる林業普及指導員の育成、高度な知識・技術を有する外部講師の確保ができる体制を維持する必要がある。</p>

(次年度の方向性)

<p>・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 森林所有者等に対する森林・林業の普及及び森林・山村の活性化を一層推進するため林業普及体制強化指導事業を実施する。</p>
--

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

<p>組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課</p>	【〇〇課】
<p>組み合わせる理由 や期待する効果 など</p>	